

人とのつながりを意識したICT活用 ～周囲に「伝える」意識を育てる～

群馬県立太田フレックス高等学校

齋藤 理一郎

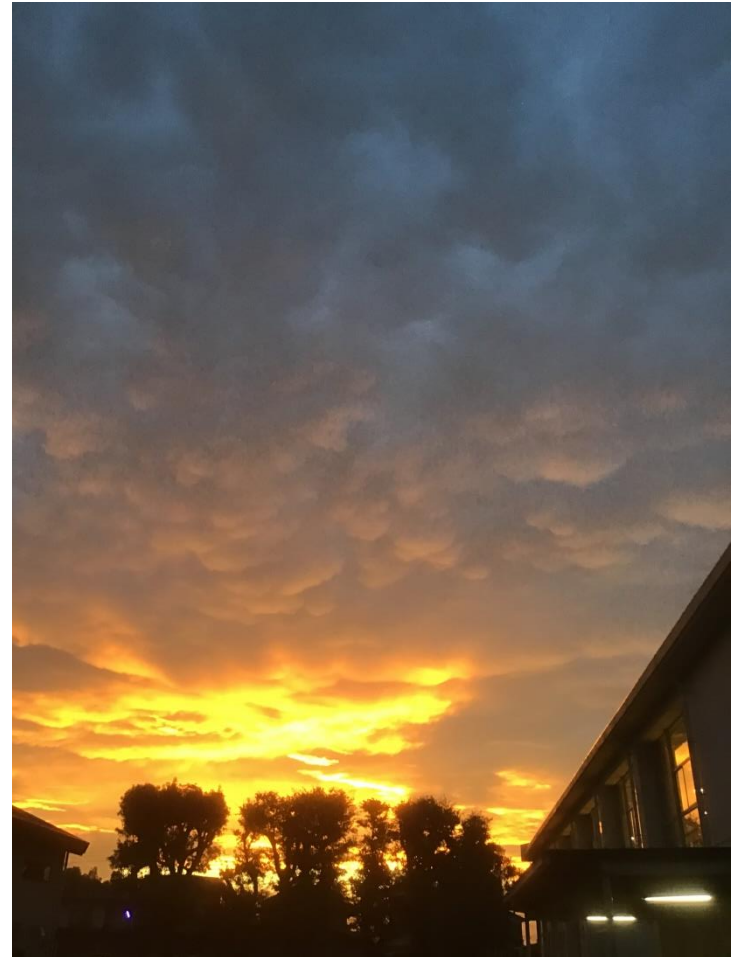
太フレって、どんな学校？



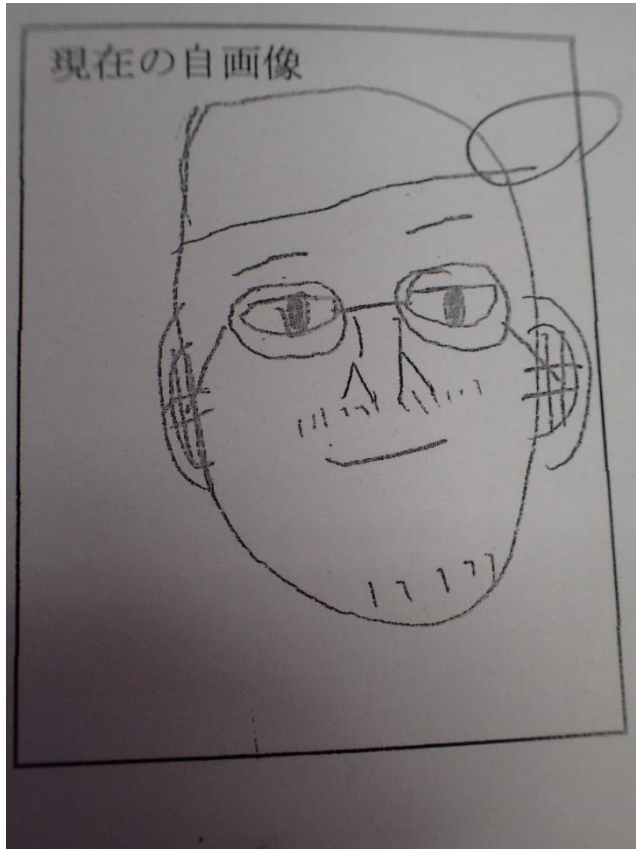
- 2005年、群馬県太田市に設立された県立高校
- 定時制(午前/午後/夜間)と通信制を併設
- 生徒が自分で時間割を組むのが特色の単位制高校
- 学年・クラスがない(ゼミ制)
- 74単位修得で卒業
- 卒業までは3年、4年、もしくはそれ以上(最長8年)

太フレ生って、どんな感じ？

- 小中学校で不登校を経験してきた生徒
- 学習の機会を見過ごしてきた生徒
- 「特別な教育課程」で学んできた生徒
- 海外につながりを持つ生徒
- 他校を退学してきた、学び直しの生徒
- 対人関係を築くのが苦手な生徒



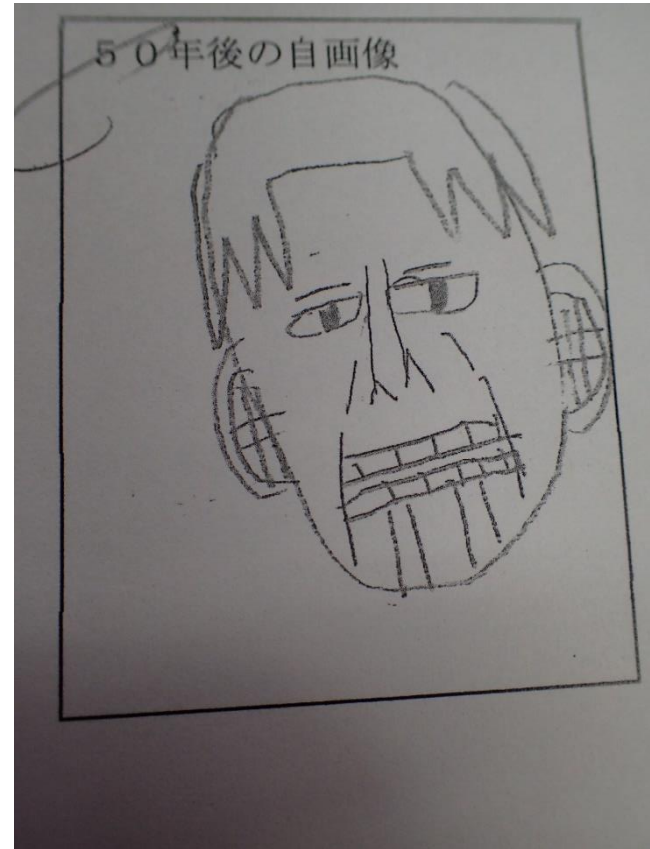
A君は2年目の生徒です



- 広汎性発達障がい
 - 療育手帳B2級
 - コミュニケーションがとりづらい
 - 予定が分からないと固まってしまう
 - 自分が困っていることを周囲に伝えられない
 - ストレスがたまると自分のもの(メガネ)を壊したり、髪を抜いたりする

A君は2年目の生徒です

- 中学校では特別支援学級に在籍
 - 英語は学習していない
 - 放課後デイ(週4回)
 - 通院(月1回)・服薬
 - 本人:協力学級の学習をがんばりたい。
 - 保護者:普通高校を視野に入れて学習を頑張ってもらいたい。



A君の高校1年目の聞き取り

- 欠席もなく落ち着いて過ごしている
- 電車通学にも慣れた
- 授業への取り組みの様子は、「問題ない」
- 初年度は必修24単位を登録して、全て修得できた
- 3年で卒業して、専門学校(動物系)への進学を希望
- ▲ コミュニケーション(やりとり)が難しい
- ▲ 友人が欲しいと言うが、具体的行動が見えない
- ▲ 予定の変更に戸惑う
- ▲ 決まった課題は取り組むが、表現活動を避ける
- ▲ 2年目で学習内容が難しくなることを心配している

支援を始めるにあたって

- ▲ コミュニケーション(やりとり)が難しい → △ 必要なことを的確に伝えられるようになるろう
- ▲ 友人が欲しいと言うが、具体的行動が見えない → △ 周りの存在に関心を持ち、円滑な関係を築けるようになるろう
- ▲ 予定の変更に戸惑う → △ 自分で生活管理する習慣を作り、行動しよう
- ▲ 決まった課題は取り組むが、表現活動を避ける → △ 定着した知識を活用した表現活動に取り組もう
- ▲ 2年目で学習内容が難しくなることを心配している → △ 定着した知識を活用した表現活動に取り組もう

支援タイム：当初のもくろみ

- 週に1回、1コマ90分(A君の授業の空き時間で)
- タブレット(iPad)を使って…
 - 双方向のやり取りの体験を通して、表現のあり方や、表現の内容の充実をはかる
 - SNSなど自分のことを外部に発信して交流を広げる
 - 予定を管理したり、自分で計画を立てたりする
 - 学校の授業の補習や復習的に学習アプリを使う
- 支援の時間以外も、自分でICT機器を活用する
 - 「便利なツール」として、使いこなしてくれたらいいなあ

支援を始めてみて、感じたこと

▲ iPadの設定に苦勞

- タッチパネルの操作がうまくいかない
- 思うところに触れない
- 爪でカッカッと画面を叩く
→ **タブレット操作がストレス**

▲ コミュニケーション困難

- 一語発話が多い
- 感情の説明が難しい
- 不明瞭な発音がある
- Noが言えずに固まる
→ **話すより書く方を好む**

- ◎ 自分でiPadケースを用意した(関心の表れ)
- ◎ 試行錯誤して、粘り強く設定に取り組んだ
- ◎ 言われて理解したことは行動にうつせる
- ◎ 決まった手順で物事を進めることができる
- ◎ 暗記している物事は、言ったり書いたりできる

4月からのA君のエピソード

- 用事があって職員室に来たものの・・・固まる
 - 「誰にどう声をかけたらいいか」が分からない
- 同じ授業の生徒に声をかけられて・・・逃げる
 - 周りの生徒に興味を示さず、名前も知らない
- 学校行事で時間割変更の指示に・・・戸惑う
 - お弁当が必要なことを母親に頼めず、欠席する
- 自由英作文の課題に・・・一文の先に進まない
 - 「何をどう書いたらいいか」が思い浮かばない

他に見えてきたA君のこと

- 興味があること
 - テレビ(ドラマ)のタレント
 - 鉄道(とくに車輜)
 - 日本史(戦国時代・幕末)
 - 動物(四つ足よりも昆虫)
- 真面目で礼儀正しい
 - あいさつができる
 - メールでやり取りできる
 - 理解した約束は守れる
 - 予定が立つと安心する
- 不十分な自己認識
 - 学校生活:「困ってない」
 - 学習面:「困ってない」
 - 友人関係:「困ってない」
→でも、突っ込んで尋ねると・・・黙ってしまう
- 「友人がほしい」けど・・・
 - 日常的にメールをやり取りする相手はいない
 - LINEやSNSはやらない

支援タイム：軌道修正

- 週に1回、60分程度 (A君の集中力に応じて)
- まずは、「おしゃべり」でつながりを強めよう
 - 一週間の学校生活を一緒に振り返ったり
 - 今週の予定を確認して、どうするか考えたり
 - 困っていることを聞き出して、対策を練ったり
 - 支援の手段：アナログに/デジタルにさぐる
- 気持ちに向いたら、タブレット(iPad)学習へ
 - 「ICTの有効性」に気づいて、興味があることを伸ばすのに活用してくれたらいいなあ

支援タイムの流れ

- 活動のルーティン化で気持ちを安定させる
 - 前日にメールで活動予定を確認して返信する
 - 職員室に来たら検温して、先生を呼ぶ
 - 教育相談室に行って、電気をつけて、窓を開ける
 - 一週間のダイアリーを介して、「おしゃべり」
 - 英語の授業の復習と予習(授業補習で関係作り)
 - Quizletを使って教科書の内容の定着を目指す
 - タブレットを使って、興味があるものを調べる
 - 「写真」や「メモ」で記録として保存する

こんな支援でつながろう、の策

1. ショート・ダイアリー

- 毎日の「うれしかったこと」「嫌な思いをしたこと」を単文・箇条書きにする
- 対話をしながら、表現や内容を深めていく

2. えにつき(アプリ)

- 写真と文章で「その日の出来事」を記録する
- 「メモ」で共有して、受け止め手を意識する

3. Zoomでおしゃべり

- 夏休みで登校しない間の「つながり」に挑戦

1. ショート・ダイアリーの取り組み

毎日の振り返りに…ショート・ダイアリー
「その日にあった、嬉しかったこと／嫌な思いをしたことを書き残そう」
ID No. Name:

月	日(月)	一日過ごして、今日の気分の天気:	
		うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆			
☆			
☆			

月曜日(10:30~)の「支援タイム」に書いたものをもって、新しいものを渡します。

毎日の振り返りに…ショート・ダイアリー
「その日にあった、嬉しかったこと／嫌な思いをしたことを書き残そう」
ID No. Name:

月	日(金)	一日過ごして、今日の気分の天気:	
		うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆			★

月曜日(10:30~)の「支援タイム」に書いたものをもって、新しいものを渡します。

「タブレット操作がストレス」「話すより書く方を好む」というA君の傾向から、始めた取り組み

- ・毎日の出来事を単文で記述する。それぞれの出来事を「どう感じたか？」をGood/Badに振り分けます。
 - 記述されたものを間に置いて、「おしゃべり」します。
 - 事実を的確に伝える表現ができるように促します。
 - +出来事に対する感情を表現できるように促します。

1. ショート・ダイアリー (1)

6月21日(月) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>晴れ</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆ 今日の夕方、僕は[redacted]と誕生日会をしました。 ☆ ☆	☆ 初めての「ショート・ダイアリー」では、事実の記述にとどまっていた。 → その時、どんな気持ちがあったか? を尋ねて聞き出しました。 → 「そういう自分の気持ちも書けるといいね」とうながしました。
6月22日(火) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>晴れ</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆ 今日の夕方、僕は[redacted]歯科に行き、矯正した歯を動かさないようにするためにマウスピースをしました。早く矯正が終わるようになります。 ☆ ☆	☆

1. ショート・ダイアリー (2)

6月29日(火) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>くもり</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
<ul style="list-style-type: none"> ☆ 今日の2時間目の体育で ☆ バレーボールの試合を ☆ してサーブの練習をして ☆ <u>難しかったです。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 2週目は、「難しかった」 ★ 「分からなかった」など ★ の自分の思いを書くよう ★ になりました。 → 「どう難しかったの? (分からなかったの?)」 を聞き出しました。 → 「次回は、『どんなふ うに』も書いてみよう」と うながしました。
6月30日(水) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>晴</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
<ul style="list-style-type: none"> ☆ 今日の4時間の進路説明会 ☆ で大学・短期大学・専門学校 ☆ の違いが ☆ <u>分からなかったです。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ★ ★ ★

1. ショート・ダイアリー (3)

7月9日(金) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>曇り</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
<ul style="list-style-type: none"> ☆ 今日の4時間目の現代文で ☆ ナインをしました。(英夫が ☆ <u>中村さんを尊敬している所</u> ☆ <u>が分かりました。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ★ だんだん、具体的で長い記述ができるようになってきました。 →感情の表現は、まだ苦手な様子です。 →「どんなふうにご過ごしているかが分かって ★ 楽しいから、また書いてきてね」と言って、次の用紙を渡しました。
7月10日(土) 一日過ごして、今日の気	
うれしかったこと (Good)	嫌
<ul style="list-style-type: none"> ☆ 今日は XXXXXXXXXXで敷島 ☆ 公園に行き釣りしました。 ☆ アンガエル(オタマシクシ)を ☆ 獲るとしたら逃亡しました。 	

1. ショート・ダイアリー (4)

7月13日(火) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>くもり</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆ 今日の2時間目の体育で	☆
☆ バレーボールの試合互して	☆
☆ 負けてしまいました。	☆
☆ <u>次こそ、勝利したいです。</u>	☆

☆ 次こそ、勝利したいです。

☆ 今日夕方、~~XXXXXXXXXX~~の

7月14日(水) 一日過ごして、今日の気分の天気: <u>晴</u>	
うれしかったこと (Good)	嫌な思いをしたこと (Bad)
☆ 今日夕方、 XXXXXXXXXX の	☆
☆ 3時間目でフットムービーの	☆
☆ 仕上互しました。自分も	☆
☆ <u>DVD互作りたいと思いました。</u>	☆

☆ 今日夕方、~~XXXXXXXXXX~~の

☆ 3時間目でフットムービーの

☆ 仕上互しました。自分も

☆ DVD互作りたいと思いました。

☆ 今日夕方、~~XXXXXXXXXX~~の

☆ 3時間目でフットムービーの

☆ 仕上互しました。自分も

☆ DVD互作りたいと思いました。

☆ 今日夕方、~~XXXXXXXXXX~~の

☆ 3時間目でフットムービーの

☆ 仕上互しました。自分も

☆ DVD互作りたいと思いました。

<夏休み直前>

初めて、「・・・したい」という表現が出てきました。

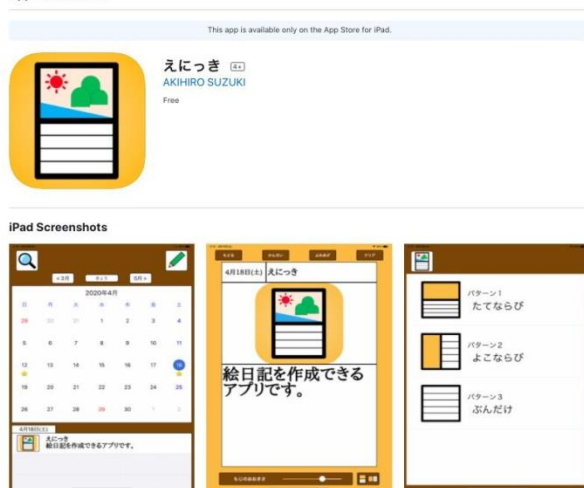
今まで、「うれしかったこと」のスペースに書いていたものを、「これは違う」と思ったのか、「嫌な思い」の方に「→」を引いてくれました。

2. 「えにつき」の取り組み

きっかけは・・・

「夏休みになると顔を合わせて『支援タイム』が取れないね」
→夏休み中の「伝える」手段として提案したら・・・「やる！」

App Store Preview



活動のもくろみ

- 文章に写真を添えることで、「表現する」活動に親しみを持たせたい
- 自分が作成したものを、人に見てもらうことで、「伝えること」に意味を持たせたい
- 自分が書いたものを介して、人と「交流する」経験を積ませたい

2. えにつき (1)

18:52 8月22日(日)

100%

< メモ



myDiary.pdf

7月19日(月)	
	300系という新幹線です。1994年に登場し、最高速度270キロで走行したけど、500系、700系、N700系が登場した。2012年に引退した。引退した時はラッピングをした。

- 初めての「えにつき」は、「なんでも好きなものを僕に教えてちょうだい」と言ったら、新幹線の車両を紹介してくれました。
- 好きなものの説明は、スラスラと書くことができたことが分かりました。

2. えにつき (2)


18:53 8月22日(日)

100%

<メモ

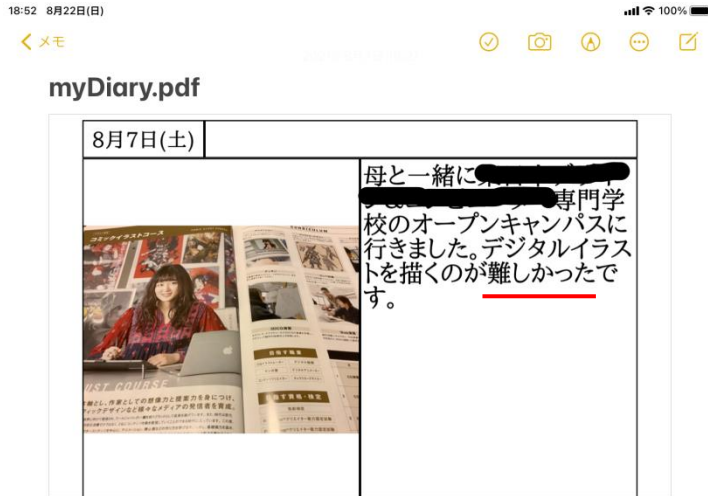


myDiary.pdf

8月3日(火)	
	
<p>■■■■の2時間目に爬虫類ふれあい教室をしました。いろいろなペットが見られて良かったです。来年度もやりたいと思います。</p>	

- 夏休みに入って2週間、放課後デイサービスの活動を「えにつき」で教えてくれました。
- 手書きの「ショート・ダイアリー」で表現できていた『感想』や『希望』が、「えにつき」でも書けています。

2. えにつき (3)

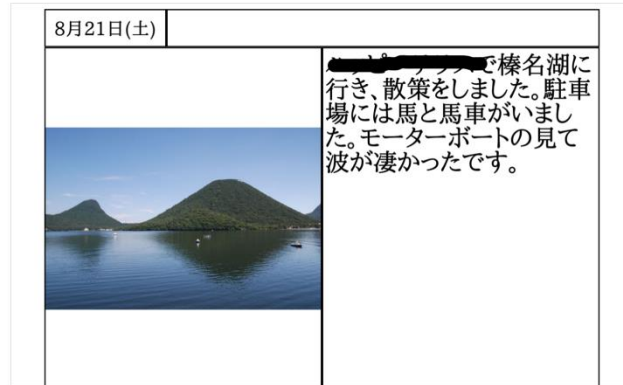


- 進路活動について、自分から「えにつき」で報告してくれました。
- 「専門学校進学希望」でしたが、動物系が自分の趣味(爬虫類や昆虫)とは方向が違うと知って、情報系の専門学校を調べるようになりました。

2. えにつき (4)

18:53 8月22日(日) 100%

myDiary.pdf



21:57 8月26日(木) 86%

myDiary.pdf



- その後も、どこかに出かけたり、何かイベントがあると、写真を撮って、「えにつき」で報告してくれるようになりました。

3. Zoomの取り組み

きっかけは・・・

「夏休み中の連絡手段がメールだけじゃ、ちょっと、ねえ」

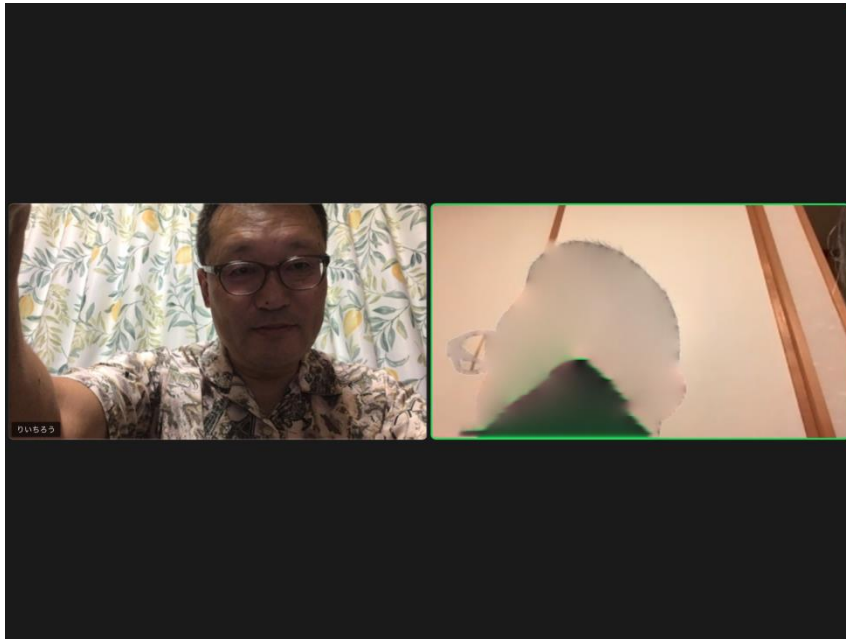
→定期的なZoomでおしゃべりを提案したら・・・「やる！」



活動のもくろみ

- 夏休み中も「つながり」のルーティンを維持したい
- A君が自分で予定を立てて、人に伝える経験をさせたい
- 書いて伝えるだけでなく、「話すやり取り」のコミュニケーションも取り組ませたい
- 自分だけでタブレットを操作する経験を積ませたい

3. Zoomでおしゃべり (1)



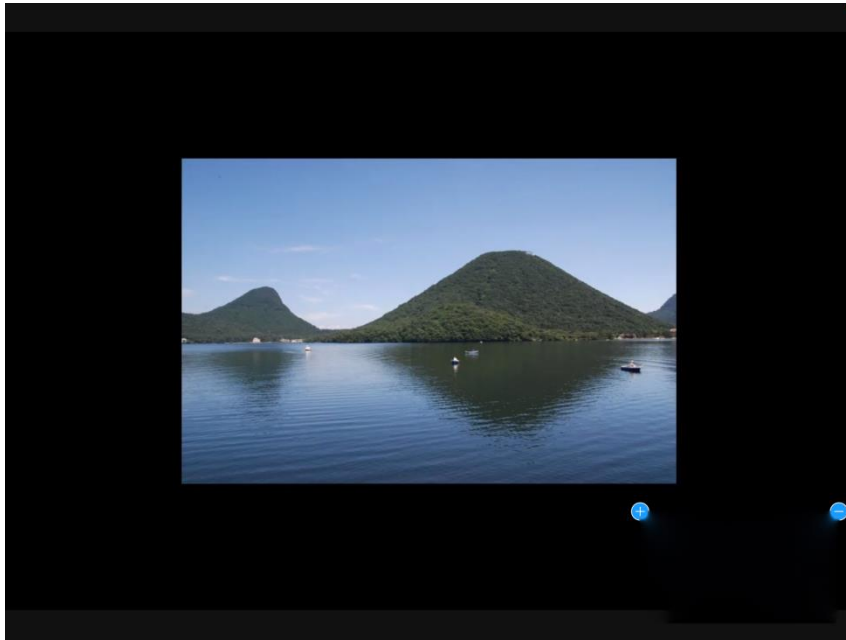
- 夏休み、メールでA君をZoomに誘ったところ、都合の良い時間を教えてくださいました。
- 毎回、30分くらいおしゃべりします。「疲れた」ら、また次回です。
- 毎週、決まった時間に入室してくれます。

3. Zoomでおしゃべり (2)



- 画面共有で写真を見せながら、「夏休みの出来事」について話してくれました。
- 動物・・・いわゆるペットではなくて、「足がないもの」か、「足がたくさんあるもの」が好きだと教えてくれました。

3. Zoomでおしゃべり (3)



- 「いつ」「どこに」「だれと」行って、「何をしたか」が説明できるようになりました。
- で、「どうだったか」のような**自分の気持ちを表現することは、まだ苦手**です。
→ 今後の課題

これまでの支援と、これから

いま、A君ができること

- 指示された内容を理解して、
順を追って行動できる
- 学習内容は何度も繰り返す
ことで定着を高められる
- 身に着いた行動・学習には、
自発的に取り組める
- 自分が興味がある事柄に
ついては、相手に伝わるよう
に表現を工夫できる

こんなことをさせてみたい

- 決まった行動を応用する経
験を積む
- 適切な学習手段を探して、
より効果的な定着を目指す
- 自発的に取り組める行動や
表現をさらに増やす
- 相手が知りたい情報に合わ
せた表現の方法と手段を身
につける

A君の成長を信じて寄り添う

先回りせず、A君自身が「何がしたいか？」を引き出す

→「やりたいことのための手段」を一緒に考える

→提案したものを受け入れるかどうかは、A君に判断させる

→A君の取り組みを認めつつ

→A君の「課題」に焦点を当てて、さらに先の行動をうながす

→(以後、繰り返し)

A君の成長に乞うご期待!!

